

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-287767

(43)Date of publication of application : 27.11.1990

(51)Int.Cl.

G06F 15/30

G07D 9/00

(21)Application number : 01-107549

(71)Applicant : OMRON CORP

(22)Date of filing : 28.04.1989

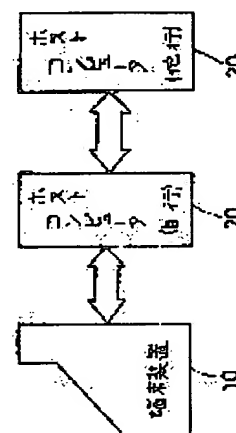
(72)Inventor : HAYASHI MAKOTO

(54) AUTOMATIC TELLER SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To open an account easily for a bank, a customer, etc., by reading data out of a card and sending the data to the host computer of the bank, requesting the host computer of another bank to send individual information, and opening the account with the information and also issuing a bankbook and a card.

CONSTITUTION: When a request to open an account is inputted and the card of a different bank is set, the data is read out of the card and sent to the host computer 20 of this bank and the host computer 20 of this bank requests the host computer 30 of the corresponding different bank to send the individual information on the card, thereby opening the account with the individual information. The individual information is sent to a terminal device 10, which issues the bankbook and card according to the individual information. Consequently, the customer need to enter no necessary items in a slip for account opening and a teller at the window of the bank need not performs specific processing by using the slip, so that the account is opened easily for the bank, customer, etc.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A)

平2-287767

⑬ Int. Cl.⁹

G 06 F 15/30

G 07 D 9/00

識別記号

4 5 1

A
N
C

庁内整理番号

6798-5B

6798-5B

6929-3E

⑭ 公開 平成2年(1990)11月27日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全8頁)

⑮ 発明の名称 自動取引システム

⑯ 特 願 平1-107549

⑰ 出 願 平1(1989)4月28日

⑱ 発 明 者 林

誠

京都府京都市右京区花園土堂町10番地 立石電機株式会社
内

⑲ 出 願 人 オムロン株式会社

京都府京都市右京区花園土堂町10番地

⑳ 代 理 人 弁理士 青木 輝夫

明 細 書

1. 発明の名称

自動取引システム

2. 特許請求の範囲

口座の開設要求を入力する手段と、カードに記録されたデータを読み取る手段と、カードにデータを書き込んでそのカードを発行する手段と、通帳を発行する手段とを有する端末装置を有し、

前記端末装置は、口座の開設要求が入力するとともに、他行のカードがセットされた場合に、そのカードのデータを読み取って自行のホストコンピュータに伝送し、

前記ホストコンピュータは、そのカードの個人情報を行のホストコンピュータに要求し、その個人情報により口座を開設するとともに、その個人情報を前記端末装置に伝送し、前記端末装置は、前記個人情報により通帳とカードを発行することを特徴とする自動取引システム。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、銀行等の個人口座開設機能を有する自動取引システムに関する。

<従来の技術>

従来、銀行等が顧客の口座を開設する場合、顧客が自分の名前、住所等の必要な事項を口座開設用の伝票に記入し、銀行等の窓口の係員がこの伝票により所定の処理を行い、通帳を発行する。

また、銀行等は、顧客の口座を開設してキャッシュカードを発行する場合は、顧客の自宅等に郵送する。

<発明が解決しようとする課題>

しかしながら、上記手順により口座を開設する方法では、顧客にとって伝票の記入が面倒であり、また、銀行の窓口の係員の業務が増大するという問題点がある。

更に、上記キャッシュカードの発行方法では、顧客は、口座開設後キャッシュカードを受け取るまでの間はキャッシュカードを利用することができないという問題点がある。

尚、口座開設機能を有する取引装置を開発すれ

ば、銀行等の窓口の係員の業務を省略することができるが、この場合にも、顧客がこの取引装置に対して所定の操作を行わなければならない、操作が面倒であるという問題点がある。

本発明は上記従来の問題点に鑑み、銀行等及び顧客にとって簡単に口座を開設することができる自動取引システムを提供することを目的とする。

<課題を解決するための手段>

本発明は上記目的を達成するために、口座の開設要求を入力する手段と、カードに記録されたデータを読み取る手段と、カードにデータを書き込んでそのカードを発行する手段と、通帳を発行する手段とを有する端末装置を備え、この端末装置は、口座の開設要求が入力するとともに、他行のカードがセットされた場合に、そのカードのデータを読み取って自らのホストコンピュータに伝送し、この自らのホストコンピュータは、そのカードの個人情報を他行のホストコンピュータに要求し、その個人情報により口座を開設するとともに、その個人情報を前記端末装置に伝送し、前

記端末装置は、前記個人情報により通帳とカードを発行するようにしたものである。

<実施例>

以下、図面を参照して本発明の実施例を説明する。第1図は、本発明に係る自動取引システムの一例の全体を示す概略構成図、第2図は、第1図の端末装置の詳細な構成を示すブロック図、第3図は、第2の端末装置を示す外観図、第4図は、第1図のホストコンピュータの詳細な構成を示すブロック図、第5図は、第1図～第3図の端末装置の動作を説明するためのフローチャート、第6図は、第1図および第4図のホストコンピュータの動作を説明するためのフローチャートである。

第1図において、10は、銀行等の店舗に設置されて顧客の口座を開設するとともにキャッシュカードを発行等する端末装置、20は、銀行等のセンタに設置され、後述するように端末装置10との間で取引処理を行うホストコンピュータ、30は、他の銀行等のセンタに設置され、後述する

— 3 —

ようにホストコンピュータ20との間で口座開設用データを伝送するホストコンピュータである。

第2図に示す端末装置10において、11は、第5図に示すように口座開設、キャッシュカード発行のための制御を行う中央処理装置(CPU)、12は、CPU11の実行プログラムや初期設定データが格納されたリードオンリメモリ(ROM)、13は、CPU11の作業エリア等を有するランダムアクセスメモリ(RAM)である。

14は、顧客に対する口座開設、キャッシュカード発行のための操作案内画面等を表示するための表示部(CRT)、15は、CRT14上に重畳されて顧客の操作部となるタッチパネル、16は、カードの送込機構や、カードに予め記録された銀行、支店、口座番号、暗証番号を読み取るリーダや、カードを発行するライタ等より成るカード処理部である。

17は、通帳を発行等するための通帳処理部、18は、伝票に取引データを印字して発行するための伝票処理部、19は、ホストコンピュータ2

— 4 —

0との間でデータを伝送するための通信処理部である。尚、上記構成部材はインタフェース19aを介して接続されている。

尚、第3図に示すように、この端末装置10の筐体の前面には、顧客が操作しやすいように、CRT14やタッチパネル15、カード処理部16のカード挿入及び放出口16a、通帳処理部17の通帳放出口17a等が設けられている。

第4図に示すホストコンピュータ20、30において、21は、第6図に示すように口座開設、キャッシュカード発行のための制御を行う中央処理装置(CPU)、22は、CPU21の実行プログラムや初期設定データが格納されたリードオンリメモリ(ROM)、23は、CPU21の作業エリア等を有するランダムアクセスメモリ(RAM)である。

24は、提携先のホストコンピュータ20、30との間でデータ伝送を行うための通信処理部、25は、端末装置20の通信処理部19との間でデータ伝送を行うための通信処理部、26は、自

— 5 —

— 6 —

己の銀行等において口座が開設された顧客の氏名、住所、電話番号、取引が可能か否か等の顧客情報が登録された大容量記憶装置27の読み出し制御や書き込み制御を行う外部メモリ処理部である。尚、上記構成部材21～26はインタフェース28を介して接続されている。

次に、第5図、第6図を参照して上記実施例の動作を説明する。

先ず、第5図を参照して端末装置10の動作、特にCPU11の動作を説明する。

ステップ31において、口座を開設する取引がタッチパネル15を介して選択されると、他行のカードを受け付ける処理を開始し(ステップ32)、「カードを入れてください。」等の操作案内を表示するようにCRT14を制御する(ステップ33)。

次いで、カードがカード処理部16のカード挿入及び放出口16aに挿入されると、カード処理部16を制御することによりそのカードを取り込み、データを読み取ってRAM13に格納する。

- 7 -

番号を受け付ける処理を開始し、「暗証番号を入力してください。」等の操作案内を表示するようにCRT14を制御する(ステップ44)。

新しいカードの暗証番号がタッチパネル15を介して入力すると、ステップ45において、その暗証番号をホストコンピュータ20に送信し、後述するようにホストコンピュータ20から送信される新通帳のデータを受信すると、ステップ46からステップ47、48に進み、新カードと新通帳を発行して放出するようにカード処理部16を制御する。また、「カードと通帳を取って下さい。」等の表示を行い(ステップ49)、カードと通帳が抜き取られると処理を終了する。

尚、ステップ39において、ホストコンピュータ20から送信された個人情報(顧客情報)により、取引が不可能な場合にはステップ50に分岐し、その旨を表示して処理を終了する。また、ステップ42において、確認キーが操作されない場合にはステップ51に分岐して口座開設の取り消し要求を送信し、処理を終了する。

- 9 -

続くステップ34において、そのカードの暗証番号を受け付ける処理を開始し、「暗証番号を入力してください。」等の操作案内を表示するようにCRT14を制御する(ステップ35)。

暗証番号がタッチパネル15を介して入力すると、カードを返却するようにカード処理部16を制御し(ステップ36)、「カードを抜き取って下さい。」等の操作案内を表示するようにCRT14を制御する(ステップ37)。

続くステップ38においては、口座開設要求と、暗証番号を含むカードデータをホストコンピュータ20に伝送するように通信処理部19を制御し、後述するようにホストコンピュータ20から送信される個人情報(顧客情報)を受信するとRAM13に格納し、取引が可能な場合に、ステップ39からステップ40に進む。

ステップ40、41では、その個人情報と「確認してください。」等の操作案内を表示し、タッチパネル15を介して確認されると、ステップ42からステップ43に進んで新しいカードの暗証

- 8 -

次に、第6図を参照してホストコンピュータ20の動作、特にCPU21の動作を説明する。

ステップ61において、口座開設要求と、暗証番号を含むカードデータを端末装置10から通信処理部25を介して受信すると(第5図、ステップ38に対応)、そのカードの銀行データに対応する提携先銀行のホストコンピュータ30に対し、暗証番号を含むカードデータと個人情報要求を通信処理部24を介して送信する(ステップ62)。

尚、提携先銀行のホストコンピュータ30は、このデータを受信すると、外部メモリ処理部26を制御することにより当該個人情報を大容量記憶装置27から読み取り、通信処理部24を介してホストコンピュータ20に送信する。

ホストコンピュータ20においては、ステップ63において個人情報を受信してRAM23に格納し、取引が可能な場合にステップ64に進んでその個人情報を端末装置10に送信する(第5図、ステップ39に対応)。

- 10 -

次いで、端末装置 10 から送信される暗証番号を受信すると（第 5 図、ステップ 45 に対応）、ステップ 64 からステップ 65 に進み、新しい口座を開設してそのデータを大容量記憶装置 27 に登録し、続くステップ 67 において、開設した口座のデータ、すなわち新カードデータと新通帳データを端末装置 10 に送信する（第 5 図、ステップ 46 に対応）。

したがって、上記実施例によれば、銀行等の店舗に設置された端末装置 10 において、他行のカードがセットされて口座開設が要求された場合、その他行のホストコンピュータ 30 から個人情報を得て、自行の新カードと新通帳を発行するので、顧客が口座開設用の伝票に必要な事項を記入したり、銀行等の窓口の係員がこの伝票により所定の処理を行う必要がなくなり、また、顧客は、新しいカードを即刻使用することができる。

〈発明の効果〉

以上説明したように、本発明は、口座の開設要求を入力する手段と、カードに記録されたデータ

を読み取る手段と、カードにデータを書き込んでそのカードを発行する手段と、通帳を発行する手段とを有する端末装置を備え、この端末装置は、口座の開設要求が入力するとともに、他行のカードがセットされた場合に、そのカードのデータを読み取って自行のホストコンピュータに伝送し、この自行のホストコンピュータは、そのカードの個人情報を他行のホストコンピュータに要求し、その個人情報により口座を開設するとともに、その個人情報を前記端末装置に伝送し、前記端末装置は、前記個人情報により通帳とカードを発行するようにしたので、顧客が口座開設用の伝票に必要な事項を記入したり、銀行等の窓口の係員がこの伝票により所定の処理を行う必要がなくなり、また、顧客は、新しいカードを即刻使用することができるので、銀行等及び顧客にとって簡単に口座を開設することができる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明に係る自動取引システムの一実施例の全体を示す概略構成図、第 2 図は、第 1

- 11 -

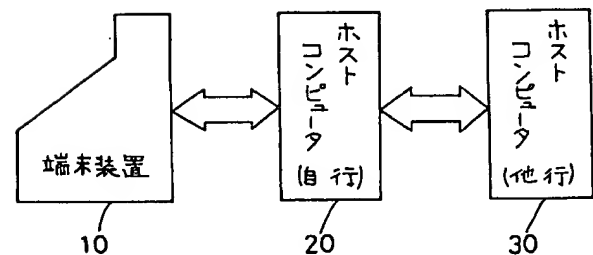
- 12 -

図の端末装置の詳細な構成を示すブロック図、第 3 図は、第 2 の端末装置を示す外観図、第 4 図は、第 1 図のホストコンピュータの詳細な構成を示すブロック図、第 5 図は、第 1 図～第 3 図の端末装置の動作を説明するためのフローチャート、第 6 図は、第 1 図および第 4 図のホストコンピュータの動作を説明するためのフローチャートである。

10…端末装置、20、30…ホストコンピュータ。

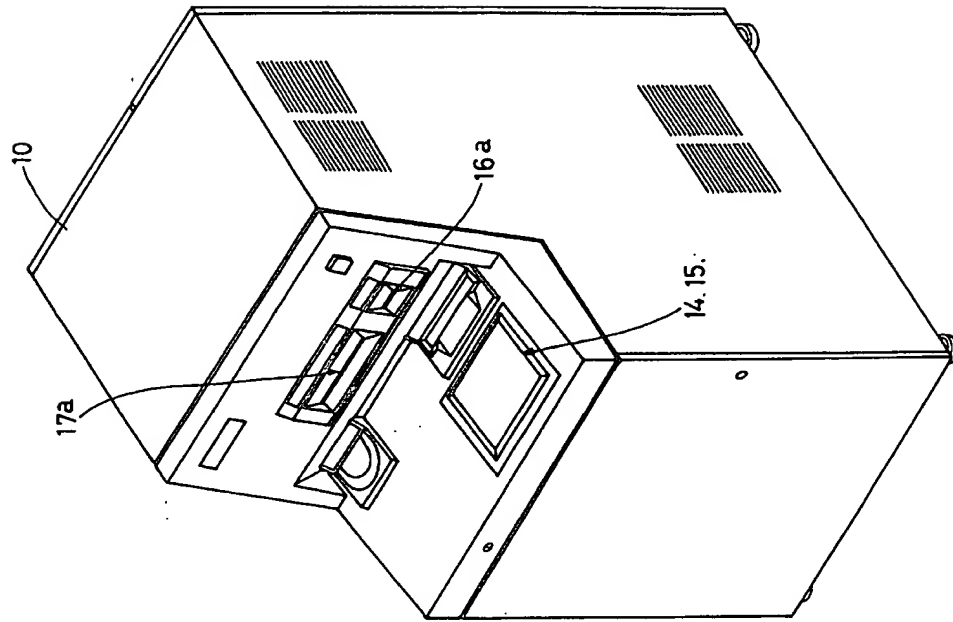
代理人の氏名 弁理士 青木 輝男

第 1 図

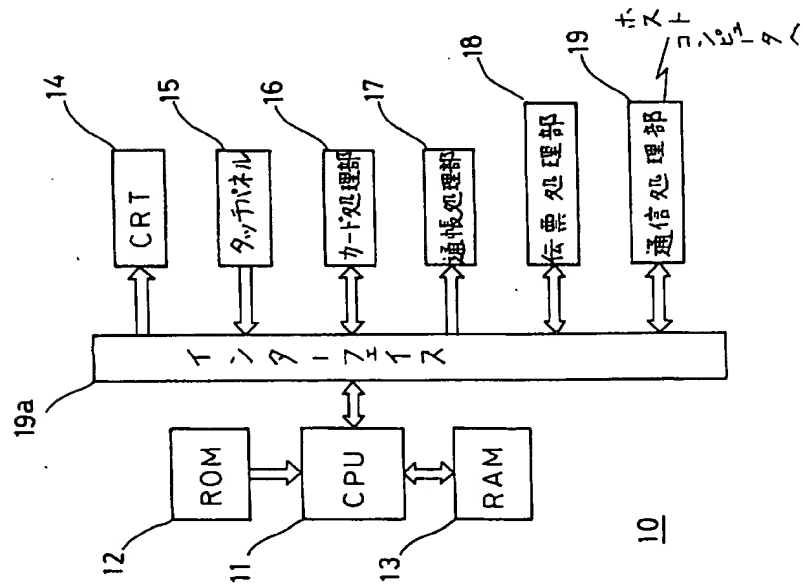


- 13 -

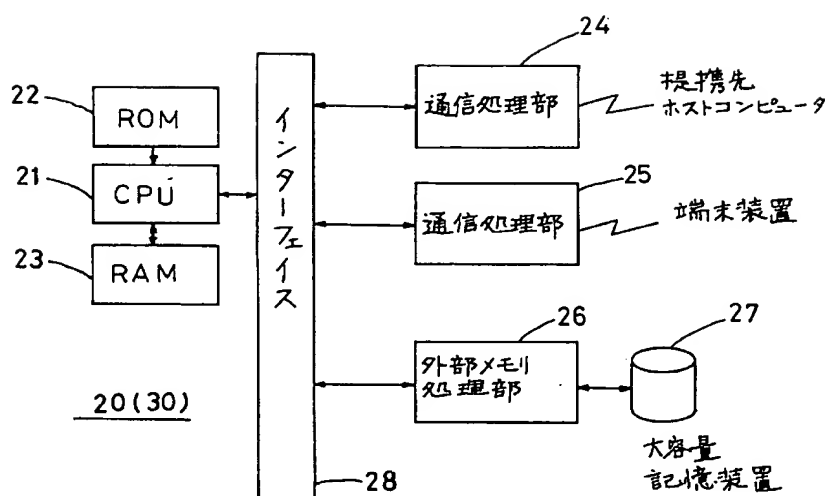
第 3 図



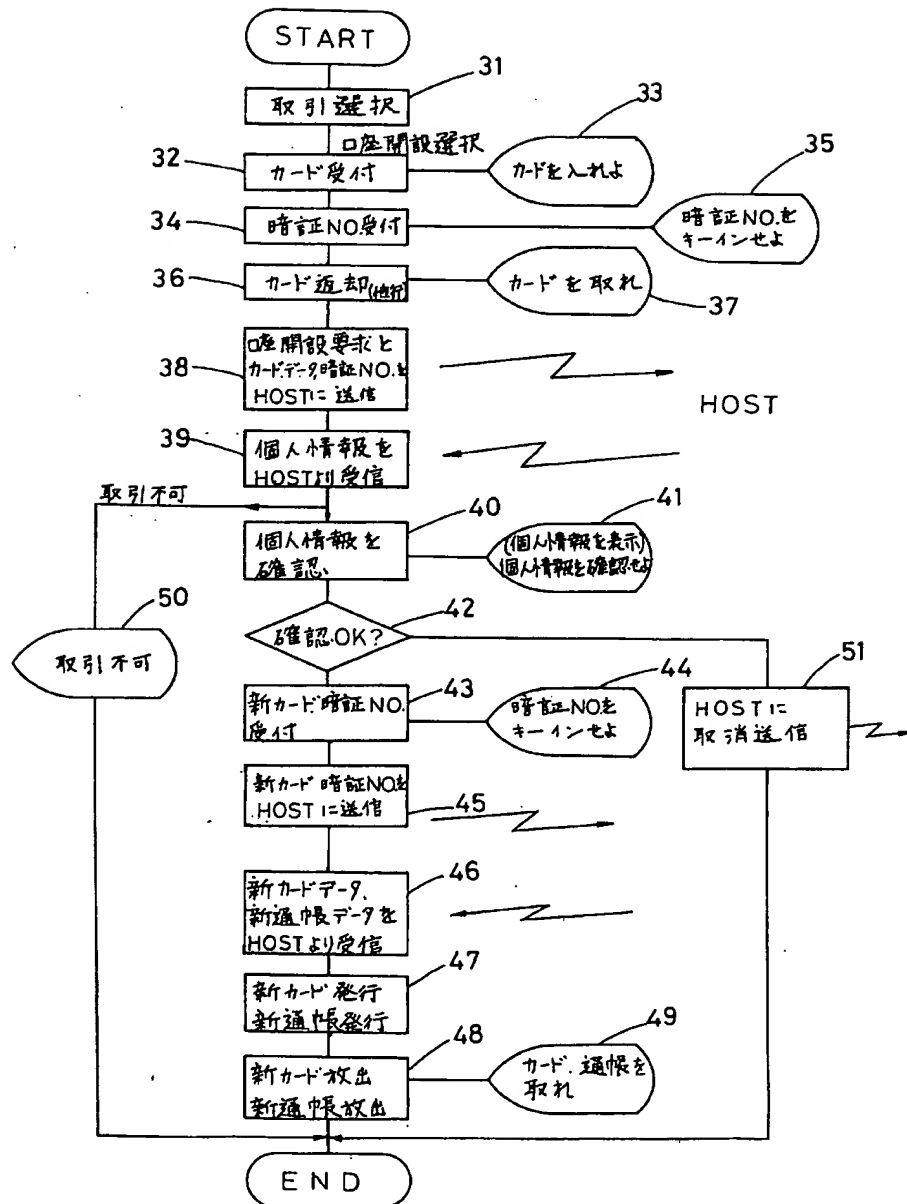
第 2 図



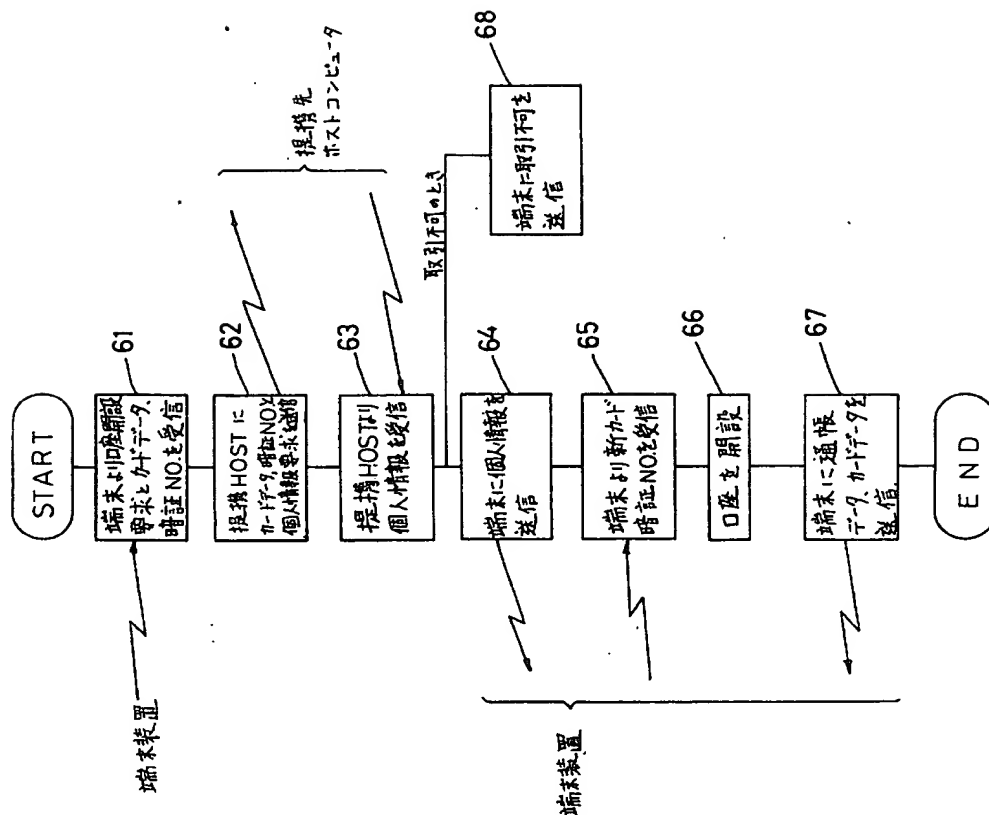
第 4 図



第 5 図



第 6 図



手続補正書（自発）

平成 1 年 7 月 3 日

特許庁長官 吉田文毅殿

1. 事件の表示

平成 1 年特許願第 107549 号

2. 発明の名称

自動取引システム

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 京都府京都市右京区花園土堂町
10 番地

名 称 (294) 立石電機株式会社

代 表 者 立 石 義 雄

4. 代理人 〒105 電話 03-502-8261

住 所 東京都港区虎ノ門 1 丁目 5 番 6 号
朝陽ビル 2 階 青木国際特許事務所

氏 名 弁理士 (8395) 青 木 輝 夫

5. 補正の対象

明細書

方式
審査

6. 補正の内容

(1) 明細書の発明の詳細な説明の第 4 頁第 2 行と第 3 行の間に次の事項を加入する。

「＜作用＞

本発明は上記構成により、顧客が 1 つの銀行等に口座を既に開設している場合、顧客がこの自動取引システムを利用することにより、他の銀行等の口座を開設することができ、したがって、銀行等及び顧客にとって簡単に口座を開設することができる。」

(2) 明細書の発明の詳細な説明の第 11 頁第 18 行の「発明の効果」を「＜発明の効果＞」に補正する。

(3) 明細書の末尾の第 13 頁第 11 行の「輝男」を「輝夫」に補正する。